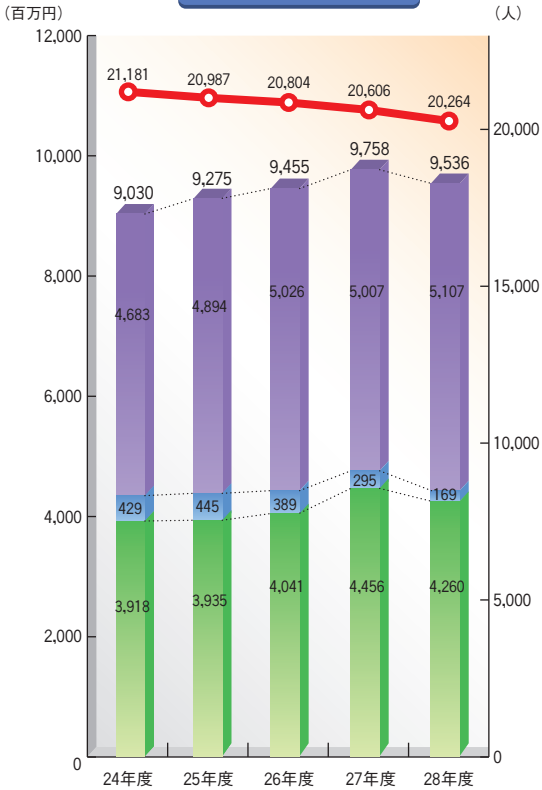


下野市

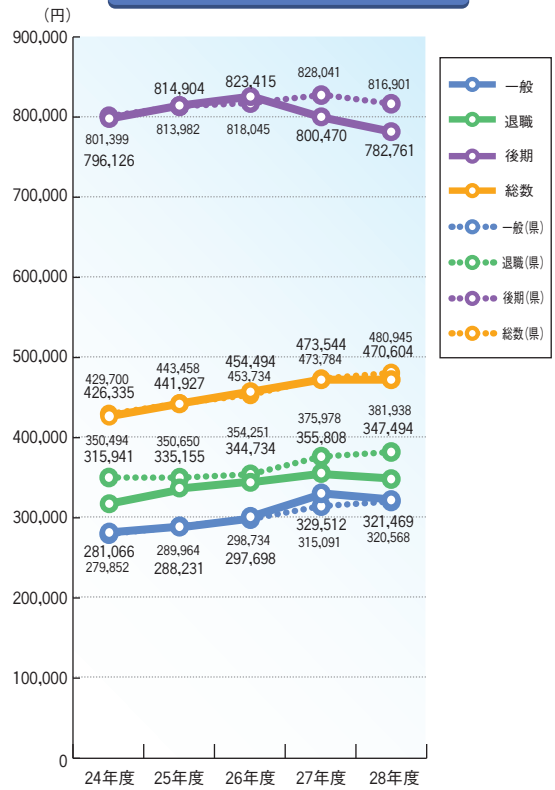
下野市



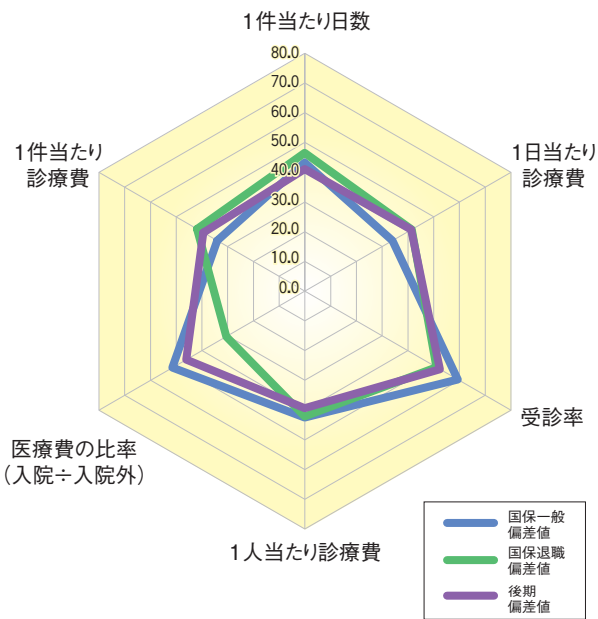
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

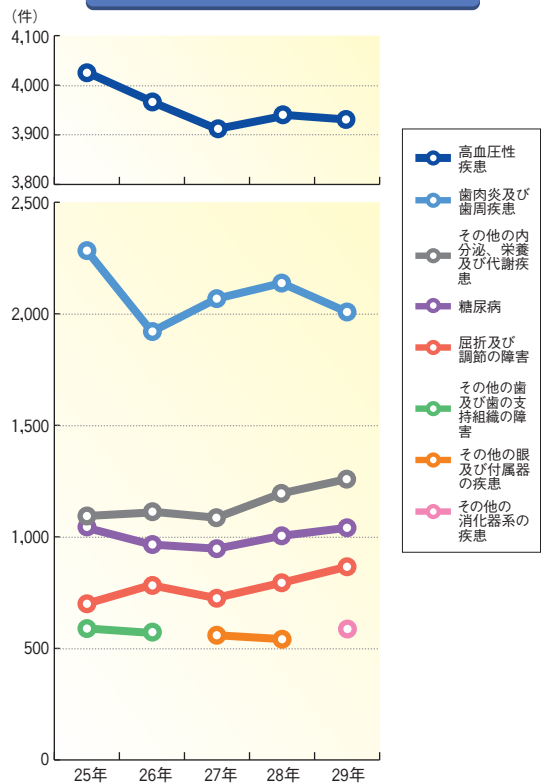


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

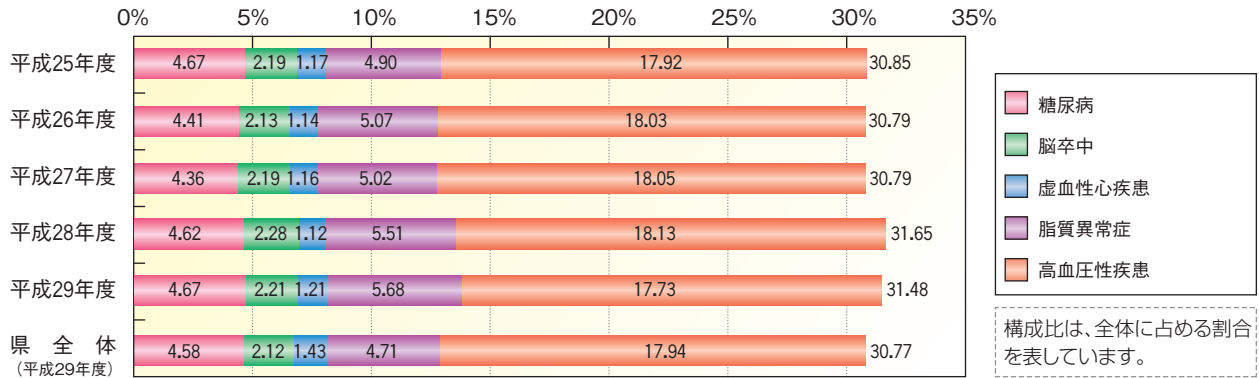


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

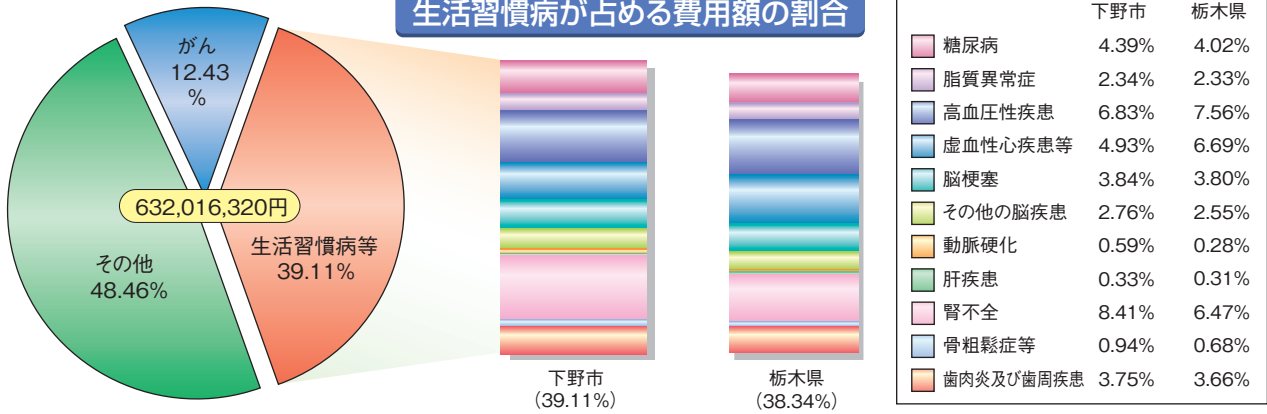
多受診疾病上位6位の推移



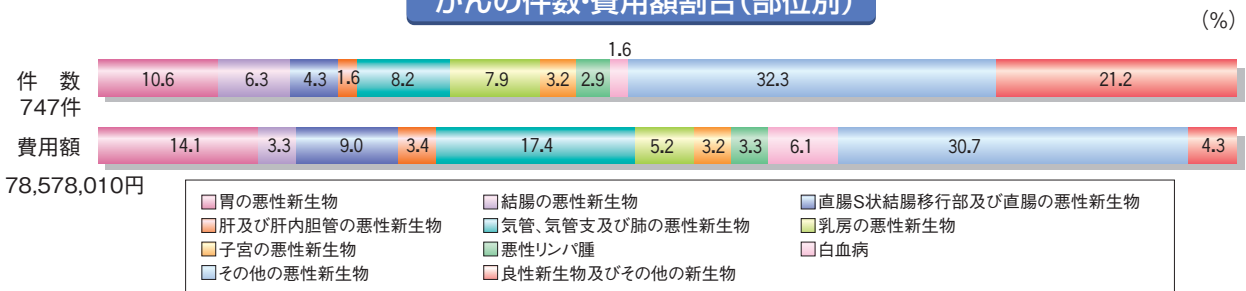
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



下野市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般4,260,425千円(95.6%)、退職169,230千円(57.4%)、後期5,106,538千円(102.0%)で、全体では9,536,193千円(97.7%)と減少している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は20,264人で、内訳は一般13,253人、退職487人、後期6,524人である。前年度と比較すると全体で98.3%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は470,604円(2,940円減)、一般は321,469円(8,043円減)、退職は347,494円(8,314円減)、後期は782,761円(17,709円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、受診率、一般の医療費の比率を除くいずれの法別も県の値を下回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の消化器系の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

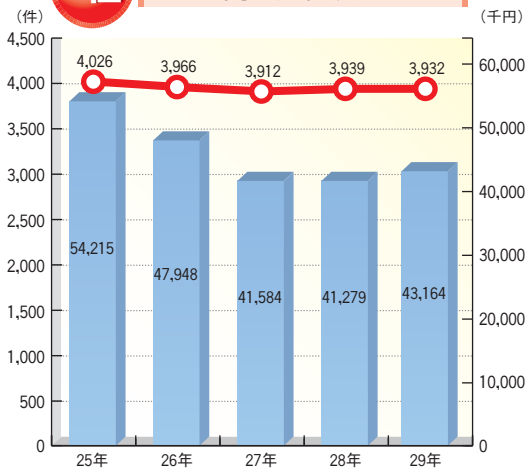
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも脂質異常症の占める割合が高い比率となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が632,016,320円で、がんが12.43%、生活習慣病等が39.11%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全8.41%、高血圧性疾患6.83%、虚血性心疾患等4.93%となっている。

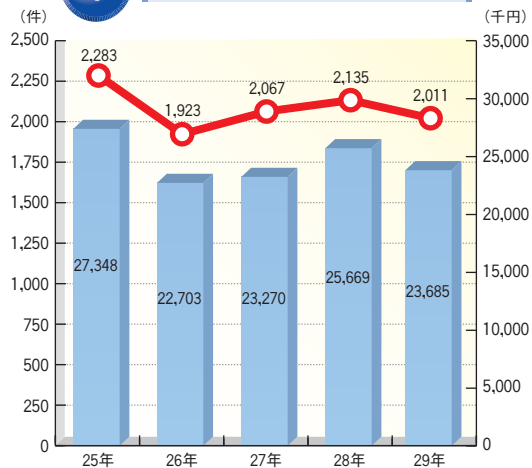
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

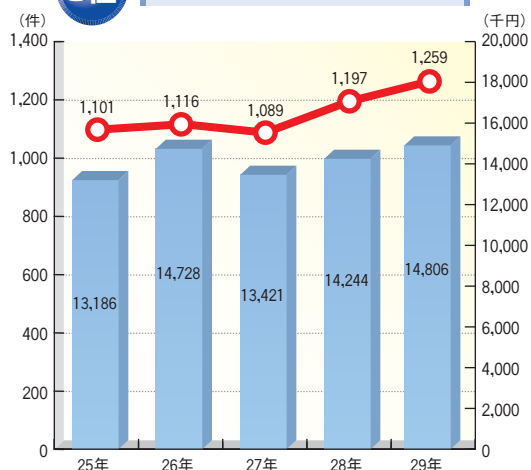
1位 高血圧性疾患



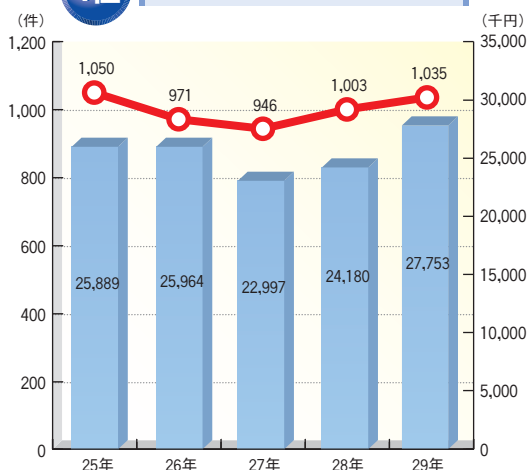
2位 歯肉炎及び歯周疾患



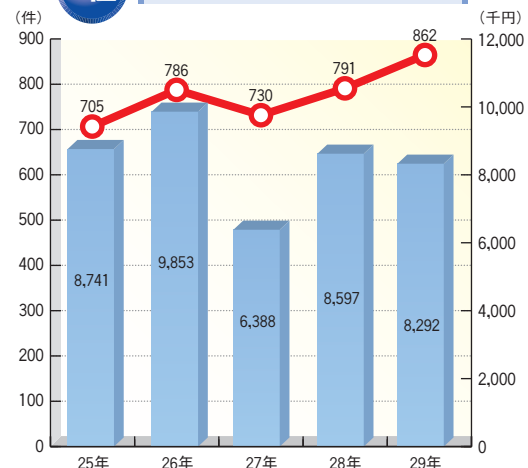
3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の消化器系の疾患

